

【ご案内】サイバーセキュリティ対策なら『PIPELINE』

<http://www.pipelinesecurity.net/>

危険な通信、情報流出、フィッシングサイト、不正侵入、マルウェア感染、Web サイト改ざん、
DoS(DDoS) 攻撃など様々な事象を素早く正確に特定します。

#securityforall



報道関係者各位
プレスリリース

2020 年 01 月 22 日
PIPELINE 株式会社

24 時間 365 日体制の総合サイバーセキュリティサービス「ThreatIDR サービス」の提供開始 ～危険な通信を事象を素早く正確に特定す～

PIPELINE 株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役：渡辺 アラン)は、24 時間 365 日体制で監視を行ない、危険な通信、情報流出、フィッシングサイト、不正侵入、マルウェア感染、C2 コマンド・コントロール通信、ボット攻撃など様々な事象を素早く正確にリアルタイムで特定する「ThreatIDR」について、2020 年 1 月 22 日からサービスの提供を開始いたします。

「PIPELINE 株式会社」
<http://www.pipelinesecurity.net/>

【提供の背景】

PIPELINE株式会社先端技術は1月22日、オンプレミスやクラウド化を検討している企業に向け「ThreatIDRサイバー攻撃対策をリアルタイムで監視、特定、検出、対応サービス」の提供を開始することを発表した。

オンプレミス・クラウド環境を問わずIoT機器、ユーザー端末、モバイル、サーバー群の総合監視が可能な「ThreatIDR」の導入、および独自の脅威情報データベースを備えた分析エンジン「JARVIS」を用いた高度な分析・監視、インシデント発生時の適切な対応アドバイスまで、同社が一元的に支援するため、ユーザーは監視を行ないたいシステムを指定するだけで、特定が難しい脅威の検知から、万が一インシデントが発生した際の迅速な対応が可能となる。

これにより、脅威を迅速に検出することで、高度なレベルのセキュリティが確保でき、安心してデジタル化を推進することができるとしている。

#脅威データ #サイバー攻撃対策 #緊急マルウェア対策 #緊急ランサムウェア対策 #緊急ランサムウェアサポート

【「ThreatIDR」のサービス概要】

<特長>

「ThreatIDR リアルタイムで監視、特定、検出、対応サービス」は、PIPELINE 自社の総合サイバーセキュリティ対策製品「ThreatIDR」でユーザーのシステムのセキュリティログを収集し、独自の脅威情報データベースを備えた分析エンジン「JARVIS」でリアルタイム分析を実施。セキュリティスペシャリストが 24 時間 365 日体制で監視を行ない、危険な通信、情報流出、フィッシングサイト、不正侵入、マルウェア感

染、C2 コマンド・コントロール通信、ボット攻撃など様々な事象を素早く正確に特定する。

<詳細・申込>

<http://www.pipelinesecurity.net/>

■会社概要

商号 : PIPELINE 株式会社
代表者 : 代表取締役 渡辺アラン
所在地 : 〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町 5-3
設立 : 2015 年 1 月
事業内容 : AI 技術を活用したサイバーセキュリティサービスの開発・
サイバー対策・緊急対策サブスクリプションサポートサービス
サイバー攻撃の研究及びリサーチ
AI 技術の研究開発

資本金 : 1,000 万円
URL : <http://www.pipelinesecurity.net/>

【本サービスに関するお客様からのお問い合わせ先】

PIPELINE 株式会社
Tel : 03-4405-5766

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

株式会社営業・マーケティング本部

担当 : 小島

Tel : 03-4405-5766

詳しくは → [PIPELINE ホームページ](#)
お問い合わせ → [リンク](#)